

警報

警報

警報

警報

警報

警報

2 6 3 - 1 4 0 9
平成 2 1 年 7 月 3 0 日

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県農政水産部長

平成 2 1 年度病害虫発生予察警報第 1 号について

平成 2 1 年度病害虫発生予察警報第 1 号を発表したので送付します。

平成 2 1 年度病害虫発生予察警報第 1 号

平成 2 1 年 7 月 3 0 日
宮 崎 県

病害虫名 トビイロウンカ
作物名 普通期水稻

1 . 発生地域 : 県内全域

2 . 発生時期 : -

3 . 発生程度 : 多

4 . 警報発令の根拠

1) 本年は、本虫の飛来が多く、病害虫防除情報第2号（平成21年7月8日付け）を発表したところであるが、7月下旬の巡回調査の結果、県内全域で発生を確認し、増殖率の高い短翅型雌成虫の発生密度の高いほ場が確認された。

2) 7月下旬の巡回調査における発生面積率41.2%、株当たり虫数0.08頭は、被害の大きかった平成17年を含む過去5年の同期比で最も多い。また、坪枯れの原因となる短翅型雌成虫率も68%と高い。（下表 参照）

7月下旬の巡回調査における発生状況（25株払い落とし）

年次	発生面積率(%)	株当たり虫数(頭)	短翅型雌成虫率(%)
H21	41.2	0.080	68 (15/22頭)
H20	0	0	0
H19	26.5	0.045	0 (0/1頭)
H18	3.3	0.001	100 (1/1頭)
H17	0	0	0
過去4ヵ年平均	7.4	0.012	50 (1/2頭)

短翅型雌成虫数/総成虫数

3) 向こう3ヶ月の長期予報では、8月・9月・10月の気温は高いと見込まれており、本種の増殖に好適な状況が続くと考えられる（鹿児島地方气象台 7/23発表）

5 . 防除上の注意

- 1) 防除適期は、8月7日～11日を中心とした第2～3半旬(第2世代幼虫期)と考えられる。 病害虫防除情報第2号 参照
ただし、断続的な飛来が認められており、地域やほ場により発生状況が異なることがあるので、ほ場の発生状況を確認した上で防除を行う。
- 2) 本虫は低密度に見えても増殖率が高く、株元を集中加害して坪枯れを引き起こす。ほ場の分布は局部的であるので、ほ場全体の発生状況を的確に把握し、防除を徹底する(要防除水準：8月上旬の短翅型雌成虫 株当たり0.2頭)。
- 3) 本虫は株元に生息するので、農薬が株元に十分到達するように散布する。
- 4) 育苗箱施用農薬を処理したほ場でも、発生に留意し、必要があれば追加防除を行う。
- 5) 防除農薬等、その他の詳細については、病害虫防除・肥料検査センター、総合農業試験場(生物環境部)、西臼杵支庁・各農林振興局(農業改良普及センター)に照会すること。
- 6) 農薬使用基準を遵守(農薬の容器のラベル表示を確認)し、危被害防止に努める。

(文書取扱 営農支援課)

担当：生産環境 杉村

電話：0985 - 26 - 7132